



なかなか雰囲気のあるヴァンセンヌ競馬場のメンバーエリア入場門



全馬が飛越するとこのように障害を移動させて平地状態にする



アンギャン競馬場ゴール前の障害を各馬が飛んでいく様子

世界旅打ち氣分

●第3回・フランス旅打ちのイロハ

須田鷹雄

写真のカラー版は
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/> の
#グリーンファーム会報#2018年3月号
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

スタッフの脇にはカブエテリア式の食堂があり、一人での旅打ちにはたいへん便利だ。フランスの競馬場に見られる傾向として、食事が豪華と簡素の一極化しすぎるという問題がある。レストランで腰をすえてちゃんとした食事を取るか、チーズしかはさまっていないサンドイッチをそもそも食べうか、とう二択になりがちなのである。しかも一人旅などどうしても後者になりがちなので、こういう食事処はありがたい。厩舎関係者にはミールクーポンが出ているらしく、厩務員とおぼしき人たちの姿も目立つ。

スが来ているが、仮に歩いても歩けない」とは。ただナイト開催時にショートカットしようとして駅前の森の中の小道を歩くとものすごく怖いので、ちゃんとした道路沿いを行ったほうがいい。徒步20分はかかるかからないと思う。

この「ヴァンセンヌ競馬場」は速歩競馬の聖地で、凱旋門賞などの入場人員が入るという敷地面積を考えると人口密度では上回る(アメリカ賞が行われる競馬場だ)日本人観光客がフランスで速歩競馬を見てみようと思いつた場合、開催頻度とアクセスの両面からいちばん良いのがこの競馬場といつてよいことになる。

比べても圧倒的に多い)。「差せ!」とか「そのまま!」とか以前に、「走るな!」という緊張感をもつてレースを見守るとなる。しかしこれも、日本ではできない経験として旅打ちならではのもだらう。

ひとつは「アンギャン競馬場」。これはパリ（北駅）から電車で30分ほどだが、「競馬場前駅」からもうすぐ競馬場が見えているので分かりやすく、旅打ち初心者にも行きやすい。

障害競馬と速歩競馬をやつているようだが私は障害の開催にしか行ったことがなく、コースも外側が障害なので、レースを見るうえではそちらのほうが観戦していて迫力

「これはフランスの他場にあるが、馬たちが障害を飛んだあとに障害を半分ずつ回転させて、次に回ってきたときには平地部分として走るのだ。アンギヤンの場合、「ゴール前がこれにあたるのだ」とよく見える。

第である。ただ、もちろんフランスには何度も行っているので、旅打ちガイド的な話をじくつか御紹介したい。

まず最初に、フランスを旅打ちするうえで一番不便なことがなにかといえば、「フランス語である。もちろんホテルなどでは英語が通じるが、競馬場では基本的に通じない」と思つて行ったほうがいいだろう。

それで思い出すのが、クレールフォンティーヌ競馬場に行ったときの話。この競馬場はドーヴィル競馬場のすぐ近くにある競馬場なのだが、駅まで歩けば歩けるドーヴィル

語は通じない。「英語通じます」の看板はなんなんだといふくらいに通じない。そういうものだと承知したうえで、たとえば行き帰りの交通機関とか馬券の種類や呼び名とか、事前にネットで調べられるものはなるべく調べておいたほうがいいだろう。

競馬の仕事をしていく、かつ海外旅行を趣味にしているというと、「よく凱旋門賞とか行くんですか?」と聞かれることがある。しかし実は、凱旋門賞には一度しか行ったことがない。デイフ・ノーマンが勝った年だから07年。ところがこれは10年以上行っていないということになる。

私の旅打ちは取材ではなく趣味の色彩が強いので、大レース・大競馬場にリピーターとして何度も行くところよりは、なるべく多くの競馬場に足を運ぶ方向となる次

ルと違い、タクシーなりなんなりを使うことになる。

私はA型気質なので、帰りの客待ちタクシーがいなかつた場合に備えて(ちなみに、ますいない)行きに乗ったタクシー会社の電話番号をメモしていき、帰りは競馬場の「英語通じます」と書いてある案内所の人へ頼んでタクシーを呼んでもらった。

「」のとき、「タクシー呼んでくだ
さい」はさすがに通じたのだが、配車できた後に「あちらの入場門の前で待つて、いれば大丈夫ですか

（）について把握できるし、ストリートビューを使って駅前の雰囲気やバス停の正確な場所も知つておこう」とができた。

また、これは予習とは別な話だが、いまは配車アプリのひとつがあるので、以前に比べると「帰りの足が無くて途方に暮れる」というリスクは軽減された。

肝心の馬券だが、かつてはPMH（場内馬券）とPMU（場外馬券）で設定賭式が違うとか呼び名が違うとか、いろいろとやっしゃうともあつた。しかし、今はPMUとい